

広報たかもり

発行 阿蘇郡高森町役場 TEL (高森局09676) ②1111 [代表]

人口

— 3月31日現在 —

9,064人 男 4,407人 女 4,657人
世帯数 2,579
転入 86 出生 8
転出 159 死亡 11



高森線存続を訴え行進

高森線の存続を訴える「高森線を守る住民大集会」が4月20日開かれました。参加者は町外からの支援者を含めて約1,100人、高森駅前広場から、会場の高森小学校体育館まで「国鉄高森線を存続しよう」「高森線を皆で守りましょう」などと書かれた横断幕やプラカードを持って行進し、ムードを盛り上げました。

国鉄高森線を利用しましょう

第297号
昭和59年

5月

お も な 内 容

- 国鉄高森線を守ろう (住民大集会)(2)
- 消防団14分団体制に.....(3)
- 8月にさだまさしコンサート.....(4)
- 中央公民館だより.....(5)
- みんなの広場.....(7)

火事・救急車は①119へ	6月10日	6月3日	5月27日	5月20日	5月13日
富東馬富平富小富立	富東馬富平富小富立	富東馬富平富小富立	富東馬富平富小富立	富東馬富平富小富立	富東馬富平富小富立
②0309 ②0646 ②0126 ②0075 ②0111	②0309 ②0646 ②0126 ②0075 ②0111	②0309 ②0646 ②0126 ②0075 ②0111	②0309 ②0646 ②0126 ②0075 ②0111	②0309 ②0646 ②0126 ②0075 ②0111	②0309 ②0646 ②0126 ②0075 ②0111
富東馬富平富小富立	富東馬富平富小富立	富東馬富平富小富立	富東馬富平富小富立	富東馬富平富小富立	富東馬富平富小富立
富東馬富平富小富立	富東馬富平富小富立	富東馬富平富小富立	富東馬富平富小富立	富東馬富平富小富立	富東馬富平富小富立

休日在宅医
診療は午前9時から午後5時まで

町民文芸

俳句

春日和根子岳裾を長く引き
こぶし咲き山桜咲き休暇村
春の風のこして子等の駆け抜ける
指呼にして霞める根子と行く雲と
花曇り芝居見にとて老い姉妹
物の芽に踊めば大地のぬくみかな
黄すみのひそと咲きたる一たむろ
春の野に散りて句作の歩をゆるめ
母逝きて後悔しきり春の雨
石楠花の今開かんとする勢い
山路来て逢いたる友や山すみれの
のどけしや畑の中行く定期バス
手をかせば姑の重さに花冷えぬ
春脚は一途に百花誘い来し

肥後狂句

無礼者 軒追い出す会議室
勘 割り爛ならば崇り無か
無礼者 焼酎出アて打ち合わん
横文字 柄見て煙草買いらす
冗談ばかり 私六十八ですよ
横文字 語面に書いたラブレター
桜も終り 酒も一時小休止
冗談ばかり さぞ人生の楽しから

山村 純女
熊谷 こう女
弥永 露女
内田 フミ
松岡 信子
桐原 寿
林 久恵
柴田 ふい子
古庄 泰子
平田 ルリ子
橋本 野枝子
馬原 要子
岩下 扶美
山村 ふみ子
岡本 琴司
田上 黙公子
林 不忘
篠田 凡才
馬原 馬笑
石田 詩朗
山村 不覚
松野 笑声

おめでた おくやみ

S59. 3. 1 ~ 3. 31 受付

【出生】	【死亡】
(住所) (保護者) (出生児) (性別) (出生年月日)	(住所) (遺族) (続柄) (死亡者) (年齢) (死亡年月日)
東原 高倉 辰生 千恵子 女 S59. 2. 28	上天 中川 光雄 妻 伯母 中川 子 69 S59. 3. 1
森野 原 藤 正三 智洋 男 S59. 3. 10	在神 渡辺 康男 母 佐吉 渡辺 子 72 3. 9
下切 田 藤 隆彰 淳 子 女 S59. 2. 26	中津 住吉 則男 父 林 朝 59 3. 10
矢津 工 藤 岡田 優久 女 S59. 2. 29	旭 児 玉 邦 養父 児 玉 忠 63 3. 13
河 原 白 石 ともみ 女 S59. 3. 19	昭 和 幸 宮 68 3. 19
	昭 和 幸 宮 68 3. 21
	昭 和 幸 宮 68 3. 27
	昭 和 幸 宮 68 3. 27
	昭 和 幸 宮 68 3. 28
	昭 和 幸 宮 68 3. 12

【死 亡】																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

◎町社会福祉協議会
△香典返し
▽高森・上在の興梧トキ子さんか
(夫、幸春さん・71歳死去)
▽高森・旭通の児玉邦男さんから
(養父、忠己さん・82歳死去)
▽高森・林の林勝さんか
(父、朝次さん・63歳死去)
▽高森・天神の渡辺康雄さんから
(伯母、トキさん・72歳死去)
▽高森・昭和の井和幸さんか
(母、ツヨさん・82歳死去)
▽尾下・下山の後藤本安さんか
(母、ヒサジユさん・89歳死去)
△一般寄付
▽永野原・小橋木の矢津田二義さんか
病氣見舞の返礼にかえて
▽草部・社倉の足立哲男さんから
病氣見舞の返礼にかえて
▽高森・昭和の黒田啓介さん、宇
藤辰男さん、高月信雄さん、岩
下航さんか
近火見舞の返礼にかえて
▽高森・昭和の岩下航さんか

◎高森町身障者福祉協会
▽尾下・下山の後藤本安さんか
◎老人クラブ
▽高森・旭通の児玉邦男さんから
「あさひ会」へ
▽尾下・下山の後藤本安さんか
「はまご会」へ
▽色見・中国の住吉次男さんから
「中西会」へ
▽色見・西丁の山室忠徳さんから
「中西会」へ
▽芹口・男原の工藤勲さんから
「寿会」へ
▽芹口・馬場の佐藤寛さんから
「寿会」へ
▽河原・味鳥の後藤寛さんから
「福寿会」へ
◎町消防団基金
▽高森・昭和の岩下航さんか

高森町婦人会員五十名は四月二日早朝、皇居勤労奉仕の旅に出発しました。空路絵の様な富士山を眼下に見ながら、羽田空港に着いたときはホッとしました。

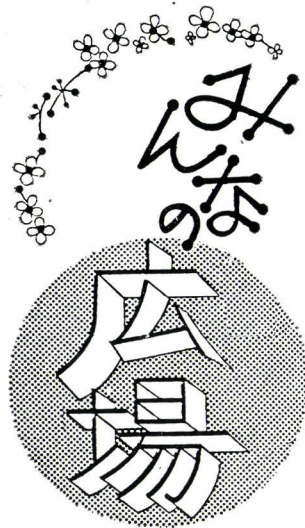
到着後、一同はバスで、国会議事堂、NHKを見学、浅草の観音様に参拝しましたが、さすがに高層ビルの林立する日本の首都東京だと感嘆しました。

靖国神社の大鳥居をくぐり、戦病死してまつられている父の霊前に初めて手を合わせたとき、一筋の涙がほほを伝わりました。

二日目からは、白いエプロンに腕章、そろいのタオルをかぶり、朝七時半に宿を出発、皇居に向かいました。毎朝、皇宮警察官によ

皇居勤労奉仕に参加して

草部南部校区婦人会 甲斐みち



る人員点呼があり、桔梗門から参入します。玉砂利を踏みながら控室に着き、ここで各県からの奉仕団と合流、係員の指示を待ちました。皇居内は百舛もあるそうで、

郵便局は、郵便、貯金、保険の仕事を中心に、NHKから委託を受けた、放送受信料の集金もしています。

郵便局からお願い

郵便物をできるだけ早くお届けするため、二月から郵便物の輸送方法が、今までの国鉄中心から自動車中心に変わりました。しかし途中の輸送方法をいくらか改善しても、配達のかかるからです。

津留、草部、色見地区の郵便物が「高森町高森」で到着すること珍しくありません。その

お願いしたいことがあります。それは、友人、知人には番地まで住所をお知らせいただきたいこと、また色々な書類に住所を記

たが、全員無事故で、意義深い旅をすることができました。

人されるときは必ず番地まで書いていただきたいということです。大切な郵便物を早く届けるためご協力をお願いします。

郵便局員は、郵便物を丁寧に取り扱い、早く正確に配達することをモットーに仕事をしています。

今後もお気付きの点はお知らせいただければ幸いです。

(☎210042)



皇居勤労奉仕に参加した高森町婦人会

国鉄高森線を守る

1,000人住民大集会



熱気につつまれた住民大集会の会場

政府、国鉄に強く抗議

住民パワーの結集で存続を

「第三セクター」か「バス転換」かの選択を迫られている国鉄高森線ですが、四月二十一日午後「国鉄高森線を守る住民大集会」(高森地区労主催)が高森小学校体育館で開かれ、約千百人が参加しました。南阿蘇の経済、文化、教育の発展の担い手である高森線を守るため、沿線住民は今後も存続運動を盛り上げていかなければなりません。

この日は町内の地区労組、商工会、婦人会員などが午後二時には高森駅前広場に集合、午後

集会宣言の要旨

私たちが永年親んで利用している国鉄高森線は、今後も南阿蘇地域の発展につくし、通勤、通学、老人、婦人の生活医療を守りささえる足として唯一の公共交通機関である。

しかし、政府、国鉄当局は厳しい財政事情を理由に第一次廃止対象路線に指定した。このような公共交通機関としての責務を放棄した国、国鉄当局、そして財界の臨調行革攻撃に対して、沿線六カ町村で結成された「南阿蘇開発協議会」、「対策連絡協議会」と、「国民の足を守る熊本県民会議」、

二時二分着の列車と、バスで支援に駆けつけた県内各地からの勤労者と合流、約千百人に膨れ上がった参加者

私たちは、会場までの約一キロを横断幕やプラカードを持って行進し、存続を訴えました。

集会では、主催者を代表して本田地区労議長が「バス転換を決めた宮原線の二の舞を踏んではならない。住民パワーの結集こそが高森線を守ると確信している」とあいさつ。次いで来賓の瀬井町長が「高森線はぜひ存続しなければなら

私たちは、政府や国鉄当局に対し強く抗議し、次の事項を要請する。

一、国鉄の従来の目的である「公共の福祉」の精神で、企業性よりも公共性を重視すべきであり、高森線を国鉄直営で存続させるべきである。

一、二月のダイヤ改正で、毎夕の列車が一両で運転され、定員の倍近くのすし詰めとなっている。

らない。町も全力を挙げて対応しているのに、皆さんも協力をお願いする」と述べたのに続いて、今村県議、国民の足を守る県民会議の高山議長、山村商工会長らが次々に存続に対する決意を発表しました。

意見発表では、高森高校の二人の列車通学生、婦人会、老人会の代表が、「高森線が廃止されれば、バス通学が下宿にしなければならず、親の経済的負担が大きくなる」など廃止によりまず先に影響を受ける利用者の立場から廃止反対を訴えました。最後に政府、国鉄に存続を求める集会宣言を採択して閉会しました。

そのうえ四月から、地域格差運賃の導入でローカル線の利用者への矛盾が大きくなっている。国鉄運賃は一本であるべきであり、利用しやすいダイヤの編成や車両の増結で乗客にサービスすべきである。

一、高森・高千穂線の接続は、熊本県・宮崎県民の永年の夢であり、地域開発の使命から一日も早く工事の再開をすべきである。

以上、私たちは国鉄高森線を守る住民集会で確認し、廃止に反対し、存続を求める強力な行動を展開するものである。

右宣言する

一九八四年四月二日
高森線を守る住民大集会

お知らせのページ

59年度の調理士試験を実施

県では、五十九年度調理士試験を実施します。

◇受験資格 二年以上調理の業務に従事したことを証明された人

◇試験期日 八月三日(金)

◇試験場所 熊本第一工業高等学校(熊本市大江六丁目一の三三)

◇受験手続 受験願書に三千四百円の熊本県収入証紙をはり、①二年以上の調理業務従事証明書②写真(六カ月以内に撮影した縦五

身脱帽)を添えて阿蘇保健所高森支所に提出してください。願書は保健所に用意してあります。

◇受付期間 六月六日から六月十三日まで

59年度の青年海外協力隊員募集

国際協力事業団と県では、五十九年度春の青年海外協力隊員を次の要領で募集します。

●募集期間 四月十五日から五月三十一日まで。

●応募資格 技術・技能を有し、実務経験のある人で二十歳から三十五歳までの青年男女で、日本国籍を有する人。

●募集説明会 △五月十七日(熊本市産業文化会館) △五月十八日(ホテルサンルート人吉) △五月二十三日(熊本市産業文化会館) △五月二十四日(本渡市民センター)

5月25日町内全域で停電

九州電力高森変電所増強工事のため、五月二十五日午前九時から午後一時まで町内全域で停電します。このため地区によっては断水が予想されますが、皆さんのご協力をお願いします。

●問い合わせ先 熊本市水前寺六

丁目十八ー一 熊本県総務部広報外事課移住外事係(☎096-383-1502)または、熊本市花畑町1-4東京生命館内 国際協力事業団九州支部熊本出張所(☎096-322-1315)

全国植樹祭ポスター用原画募集

県では、六十年五月阿蘇で行われる第三十六回全国植樹祭に使用するポスター用原画を募集します。

●図柄 △図柄は自由とします

●図柄に限りません △色彩は自由です △ポスターの中に文字、

5月31日は、自動車税の納期限

名義変更、住所変更、抹消などの登録はお早めに

〒862 熊本市水前寺六丁目十八ー一 熊本県全国植樹祭準備室(県庁十階) ☎096-383-1111 内線2622、2261

住宅金融公庫の融資受付開始

住宅金融公庫では、マイホーム建設資金と住宅購入資金の借入申込みを、次のとおり受け付けます。

●受付期間 五月一日から五月三十一日まで

●選考方法 受付順、無抽選

●限度額と全利率 木造の場合 △百十平方以下、四百八十平方以下、五百三十平方(六・五割)

△百三十五平方以下、五百三十平方(六・五割)

△百六十五平方以下、五百八十平方(七・三割)

老人同居の場合、床面積と融資限度額が増加されることがあります。また併せ貸しとして融資される、年金被保険者住宅資金(厚生年金、船員保険、国民年金)についても受け付けられます。

●問い合わせ先 住宅金融公庫熊本支所住宅相談所(☎096-324-2121)または、お近くの公庫業務取扱金融機関

木材共販市況

4/28市況		高森町森林組合	
スギ	長さ	径	級
4 m		7~13cm	安 値 12,630
		14~22	高 値 18,500
		24~28	23,400
		30以上	20,500
3 m		7~12	23,400
		13~18	9,600
		19~28	14,100
		20~28	13,800
2 m		7~14	20,500
		16~28	24,500
		20~28	8,600
		20~28	11,500
6 m		20~28	12,300
		20~28	9,500
		20~28	42,000
		20~28	—
4 m		11~13	24,500
		14~22	28,800
		24~28	33,800
		30以上	46,700
3 m		13~18	—
		16~28	64,500
		16~28	38,100
		16~28	42,500
2 m		16~28	9,600
		16~28	18,800
		16~28	—
		16~28	—

消防団14分団体制に

組織の充実めざす

五月一日から町の消防団組織が一部変更になり、十一分団から十四分団体制になりました。

これは、一つの分団が広い範囲を担当するために起こる、連絡、統制の不徹底などの問題を解決す

町、横町担当)に、旧七分団が八分団(洗川、大村、中原、前原、小倉原担当)と、九分団(小倉原

るためと各分団の充実を目的としたものです。今回の組織変更で、

旧五分団が五分団(旭通、昭和、下町担当)

と、六分団(天神、上

当)に、旧十分団が十

二分団(尾下地区担

当)と、十三分団(河

原地区担当)にそれ

ぞれ分かれていま

す。また、消防団本部

は本部長を廃止、団

員も約三十人減らし

て四百三十人を定員

とするなど、少数精

鋭で皆さんの生命や

財産を守るため活躍

することにしていま

す。

さらに宇藤団長が

勇退、塚本副団長が

新しい団長になりま

した。

新しい組織、幹部

は次のとおりです。

本町の消防団長に

なられた

塚本 保雄さん

「本町消防団の装備は新鋭の

消防車、小型ポンプ積載車など

が年次計画で

導入されてお

り、機動力が

ますます強化

されています。

しかし、

水利の確保に

ついてはまだ

十分とは言えません。これから

もそれぞれの地域で防火水槽の

建設が進められると思います

が、皆さんのご協力をお願いします



消防団に入

団、四十六年

十二月から副

団長として活

躍、五十八年

に就任されま

した。

二十八年に

消防団に入

団、四十六年

十二月から副

団長として活

躍、五十八年

に就任されま

した。

二十八年に

消防団に入

団、四十六年

十二月から副

団長として活

躍、五十八年

に就任されま

した。

広報たかもりテレホンサービス

◆町の行事予定が、いつでも気軽に聞けます。

高森電報電話局では、便利な電話を有効に活用するため、電話の上手なかけ方、受け方を広く知っ

て頂く「電話教室」の受講希望を受け付けています。内容は次のとおりです。

●正しい電話のかけ方、受け方

●電話のつながるしくみ

●映画(所要時間は一時間半ですが短かくもできます)

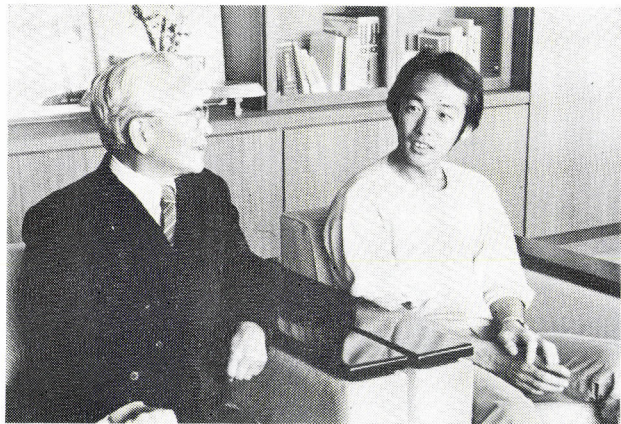
学校、老人会、婦人学級、子供会などで計画されてはいかがでしょうか、料金は無料です。申し込み先は高森電報電話局 自動運用係(☎210500)

阿蘇国立公園制定50周年記念事業

8月にさだまさしコンサート

町も積極的に観光PR

子どもから大人まで幅広い人気を持つ、フォーク歌手のさだまさしさんが高森町にやって来ます。阿蘇国立公園制定五十周年記念事業の一つ、さだまさし野外コンサートが南阿蘇国民休暇村で開かれます。



瀬井町長と話すさだまさしさん

公園は八月十九日午後二時から。毎年阿蘇で開かれていた、南阿蘇野外コンサートが撤退・中止になった折だけに、熊本県大型観光キャンペーンの目玉として話題になりそうです。

コンサートの発起者は上色見・大村の本田研一さん(三三)で、さださんとは十年來の友人。「阿蘇の雄大さが好き」と、ちょくちょく高森を訪れているさださんは快くOKし、今回のコンサートが実現することになったものです。

ふるさとの香りをどうぞ
南阿蘇の味まつり開く

「春の南阿蘇味まつり」が、四月十九日から二十四日まで、熊本市の岩田屋伊勢丹で開かれました。これは、県内各地の隠された味を発掘、代々受け継がれてきた郷土色豊かな、なつかしい味を広く紹介しようという企画されたもので、西原村を除く南郷の五カ町村から約百点が陳列されました。



買い物客で賑わう味まつりの会場

するよう、また高森を売り出すために全面的に協力とPRをすることにしていきます。さださんは長崎の出身で、四十八年に「グレイプ」を結成、「精霊流し」を皮切りに「無縁坂」「縁切り寺」など数々のヒット曲を出しました。三年後に「グレイプ」を解散し、ソロに転向、五十四年の「関白宣言」の大ヒットは皆さんの記憶に新しいと思います。さらに五十六年には、自ら揚子江の原流を訪ねる映画「長江」を作り大きな話題を呼びました。

現在はラジオのレギュラー番組を三つ持ち、月に十三回のコンサートをこなす忙しきです。今後、事故を防ぐため、警察との警備計画、交通対策などの打合せが順調に終われば、五月下旬にはチケットが発売される予定です。前売りは三千円、ゲストは「白鳥座」。

問い合わせは、役場産業観光課

さだまさしさんが、四月二十日竹田市でのテレビロケの合間を縫って瀬井町長を訪問、「美しい高森が気に入っています。高森線存続問題は以前から関心を持っていました。利用促進のため少しでもお役に立てればと思っています。そして、ファンの心に残るようなコンサートにしたい」と抱負を話しました。

・林務観光係が企画課・広報統計係へ。

さだまさしさん
瀬井町長を訪問

中央公民館だより

慈愛園を訪問して



高森高等学校・二年 芹口幸代

わたしは、この日多くのことを学んだと思います。現在のボランティア活動は、核家族化による老人問題、育児の問題など増える一方です。私たちが訪れた慈愛園は、そんな現代の問題を全面的に受け入れる体制で、老人、幼児などが大勢

留学生から礼状届く

昨年の七月、町青年団体連絡協議会が中心になって、九州大学留学生との交流会(ロツジファミリィサマーキャンプイン高森)を実施しましたが、その時民泊受け入れをされた、高森・横町の吉良慎人さん(四九)に、エジプトのエミル・ハリム・ガドさんからお礼を兼ねた年賀状が届きました。

移動図書巡回

期日	配本場所	時 間
5月24日	農協色見支所前	10時～10時40分
" "	農協上色見支所前	11時10分～11時50分
" "	旧役場庁舎前	13時30分～14時10分
" "	畜協前広場	14時30分～15時10分
5月25日	農協河原支所前	10時～10時40分
" "	役場野尻出張所	11時10分～11時50分
" "	農協草部北部支所前	13時30分～14時10分
" "	役場草部出張所	14時40分～15時20分

提言箱

保育園を新築して

提言 保育園を新しく建設してください。

現在町には五つの町立保育園、一つの私立保育園があります。町立保育園のうち、河原、野尻保育園が木造、残りは鉄筋コンクリート造りで、改築の予定はありません。

ご提言の保育園の改築の件は、高森保育園のことではないかと思ひます。しかし、高森保

保健所のストープに枠を

育園は私立の施設であり、財政上のこともありますので、十分検討していただくよう伝えます。△町民課福祉第二係△

提言 冬に後戻りするような話で恐縮ですが、阿蘇保健所高森支所の三つのストープに危険防止のための枠を取り付けていただきたいのです。

ご提言ありがとうございます。枠は早速取り付けました。今後もお気付きの点はご連絡ください。△阿蘇保健所高森支所△

ないでしようか。そのことで時代の変化に気付いた思いがしました。世の中の状態が良くなったにしろ、悪くなったにしろ、ボランティアが必要になったわけです。日本は、他国に比べずいぶん生活水準も上昇してきました。上昇したことに伴い、今までは違った面での問題も多くなったのです。私たちの周りだけの「から」にとどまらず、今からは社会全体がより向上するよう、ちょっととした周りのことにも積極的に手を伸ばしていかなければならないと思います。その手段の一つとして、もっとボランティア活動に自主的に取り組んでいきたい